

---

# 悲劇の皇女

choro

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

悲劇の皇女

### 【コード】

N9099D

### 【作者名】

choro

### 【あらすじ】

同名の曲にお話をつけたものです。あるところにて始まるよくあるおとぎ話です。

あるところに王さまと王妃さまがいました。

二人の間によくやくとても可愛らしいお姫さまが生まれました。

しかし、悪い魔法使いがお姫さまを気に入り、ほしいと言いつきました。

もちろん王さまと王妃さまはこの可愛いお姫さまを渡したくはありません。

そこで魔法使いは、条件を持ち出しました。

「お姫さまの初めての舞踏会の夜に頂きに参上しよう、それまでは我慢してやる。」

そんな条件だつて王さまと王妃さまは嫌でした。

しかし、相手は悪い魔法使いです。

へたをしたら国を滅ぼされてしまいます。

そこでとりあえず承諾しました。

王さまは家臣のものを集めました。

「いったいどうしたら良いのだろうか？」

『この際、魔法使いを殺してしまつてはいかがですか？魔法使いといえども人には違いありません。殺すのは可能かと思われませう。』

と家臣の一人が言いました。

他のものも賛成しました。

ところがその中に一人賛成しないものがおりました。

そのものは占いが出来ました。

「占いには負けると出ている。また、例の日になると勇者が現れると出ている。」と言いました。

しかし、王さまはそれまでは待てないと言ひ、軍を出しました。

それは激しい戦いでした。  
しかし、ほんの少し劣勢でした。  
王さまも家臣も魔法使いが怖かったのです。  
かくして、一回目の戦いは敗北に終わったのです。

何も知らないお姫さまは、すくすくと成長されました。  
そして、それはたいそう美しくなられたのです。

やがて、運命の舞踏会の日がやってきました。  
優雅に踊るお姫さま、舞踏会は盛大に催されました。  
にぎやかな中、静かにそれは実行されました。

お姫さまはさらわれました。

そのことを嘆き悲しむものはたくさんおりました。

お姫さまを慕う人はたくさんいたのです。

その中に、一際嘆き悲しむ人がいました。

その人は一階の騎士であるがために、求婚できないでいるものでした。

『ああ、どうしてこんなことに。よし助けに参ろう。』

実はこの人こそが、先の家臣が予言した、勇者、だったのです。

騎士は王さまに戦いましょうと言いました。

王さまもお姫さまを取り返したかったので、1も2もなく頷きました。

二度目の戦いは圧倒的に王家の有利でした。

何より勇者がいましたし、魔法使いはお姫さまを手に入れたので、油断していたのです。

かくして、王さまはお姫さまを取り返すことに成功し、この騎士とお姫さまを結婚させました。

こうして平和が訪れました。  
めでたしめでたし。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9099d/>

---

悲劇の皇女

2011年10月4日18時34分発行